

[大砲之口](小林盛之丞等の元金・利息・礼金等書付)		1冊・横長半	た49-8
(断簡)		1通・横折紙	た49-9
[差上之口](酒井栄助等の元金・利息・礼金等書付)		1冊・横長半	た49-10
(歩兵銃仕立代のうち武具方へ支給分等につき書付) 前欠・後欠	(亥4月11日～子2月19日)	1冊・横長半	た49-11
(町村内献上者関係届書綴)		4点	た11
(代官丁等献上者関係届書)		1冊・横長美	た11-1
(松山町等献上者関係届書)	10月21日	1冊・横長半	た11-2
(西條町等献上者関係届書)	22日	1冊・横長美	た11-3
(伊勢町等献上者関係届書)	10月22日	1冊・横長半	た11-4
(明治3年分諸職人冥加金書上) 冥加金を雑税へ詰め込む旨の掛紙あり	明治3年午	1冊・豎半	た15

## 13 藩政／財方／藩札騒擾時の家臣献金

## 計政局

(献上金関係書類綴 明治3～5年)		50点	た29
徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](献上金10両につき) 徳嵩廣馬→河原敬之進殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-1
阿藤通碩用状[覚](昨年12月の献上藩札15両今年7月の献上金へ引当願につき) 阿藤通碩→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年末7月	1通・横切紙	た29-2
小野善四郎金銭受取証文[證](榎本純達献上金還付金15両につき) 小野善四郎→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿他1名	明治5年申3月2日	1通・豎紙	た29-3
富永新平金銭受取証文[證](山寺丙太郎献上金還付5両2金につき) 富永新平→徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)正月2日	1通・横切継紙	た29-4
山内庫治郎金銭受取証文[覚](献上金2金につき) 山内庫治郎→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未12月27日	1通・横切紙	た29-5
前嶋有平金銭受取証文[覚](前嶋権兵衛献上金5両につき) 前嶋有平→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未12月23日	1通・横切紙	た29-6
宮本慎助金銭受取証文[覚](献上金61両2金につき) 宮本慎助→中嶋渡浪殿	明治4年辛未12月17日	1通・横切紙	た29-7
成本治之助金銭受取証文[覚](献上金御還付7両2金につき) 成本治之助→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末12月	1通・横切継紙	た29-8
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金藩札20両受取司金方へ納入につき) 池田富之進→	明治3年午12月	1通・横折紙	た29-9
村上覚次郎金銭受取証文[覚](献上金1両につき) 村上覚次郎→中嶋渡浪殿	明治4年辛未11月28日	1通・横切紙	た29-10
小林常男金銭受取証文[覚](献上金2金につき) 小林常男→中嶋渡浪殿	明治4年辛未11月	1通・横切紙	た29-11
西村半六金銭受取証文[覚](献上金2金につき) 西村半六→中嶋渡浪殿	明治4年辛未11月	1通・横切継紙	た29-12

## 13 藩政/財方/藩札騒擾時の家臣献金

小山東弥太金銭受取証文[覚](騒擾のため献上金還付金5両につき) 窪田富之助・代判小山東弥太→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿 小山東弥太は窪田富之助の代判	(明治4年)辛未9月24日	1通・横切継紙	た29-13
青山喜平次金銭受取証文[覚](騒擾のため献上金還付金10両につき) 岸田総雄・代判青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿 青山喜平次は岸田総雄の代判	明治4年末	1通・横切継紙	た29-14
小山織江金銭受取証文[覚](騒擾のため献上金還付金2金につき) 竹内茂代判小山織江→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿 小山織江は竹内茂の代判	明治4年末9月	1通・横切紙	た29-15
鈴木慶一郎金銭受取証文[覚](騒擾のため献上金還付金4両につき) 鈴木慶一郎→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・横切継紙	た29-16
小野里清之進金銭受取証文[覚](騒擾のため献上金還付金1両につき) 小野里清之進→中島渡浪殿 小野里清之進は町田善左衛門の代判	明治4年末9月	1通・横切継紙	た29-17
徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](騒擾のため献上金還付金2両2金につき) 徳嵩廣馬→中島渡浪殿 徳嵩廣馬は長谷川直太郎の代判	明治4年末9月	1通・横切紙	た29-18
宮本慎助金銭受取証文[覚](騒擾のため献上金還付金38両2金につき) 宮本慎助→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・横切紙	た29-19
徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](献上金100両につき) 徳嵩廣馬→齊藤善九郎殿	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-20
竹内権平金銭受取証文[覚](騒擾につき献上金還付金1両につき) 竹内権平→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・横切紙	た29-21
池村猪三郎金銭受取証文[覚](騒擾につき献上金還付金1両につき) 池村猪三郎→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末8月	1通・横切紙	た29-22
宮岡宗清金銭受取証文[覚](献上金還付金2両につき) 宮岡宗清→中島渡浪殿	(明治4年)辛未9月	1通・横切紙	た29-23
小林善蔵金銭受取証文[覚](献上金還付金2両2金につき) 小林善蔵(印文「盛明」)→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	(明治4年)未9月5日	1通・横切紙	た29-24
戸根山徳三郎金銭受取証文[覚](献上金還付金2両2金につき) 戸根山徳三郎→徳嵩廣馬殿	(明治4年)未9月4日	1通・横切紙	た29-25
矢沢龍幾久金銭受取証文[覚](献上金還付金100両につき) 矢沢龍幾久→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月3日	1通・横切継紙	た29-26
関田慶左衛門金銭受取証文[覚](献上金還付金14両2金につき) 関田慶左衛門→中島渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	(明治4年)辛未8月	1通・縦切紙	た29-27
阿藤通碩金銭受取証文[覚](献上金還付金7両2金につき) 阿藤通碩→中島渡浪殿	(明治4年)未9月朔日	1通・横切紙	た29-28
中島渡浪金銭受取証文[覚](献上金還付金12両2金につき) 白川祝、代判中島渡浪→徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿 中島渡浪は白川祝の代判者	明治4年末8月28日	1通・横切紙	た29-29
阪野柔次郎金銭受取証文[覚](献上金還付金保字小判1枚につき) 阪野柔次郎→徳嵩廣馬殿	(明治4年)未8月23日	1通・横切紙	た29-30
徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](献上金2両につき) 徳	明治3年午12月	1通・縦紙	た29-31

嵩廣馬→駒沢瀧人殿			
中島渡浪金銭受取証文[覚](献上金3両2金につき) 中島渡浪→原忠次郎殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-32
上村何右衛門金銭受取証文[覚](献上金50両につ き) 上村何右衛門→松村左金吾殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-33
野中喜左衛門金銭受取証文[覚](騒擾につき献上金 還付金2両2金につき) 野中喜左衛門→中島渡浪殿・ 池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年未8月	1通・横切紙	た29-34
入弥左衛門金銭受取証文[覚](献上金還付金7両2金 につき) 右(立田秀英・長岡茂市)兩人親類入弥左衛門 →中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿他1名	明治4年未8月18日	1通・横切紙	た29-35
大日方良之助金銭受取証文[覚](献上金還付金10両 につき) 大日方良之助→中島渡浪殿	(明治4年)未8月18日	1通・横切継紙	た29-36
上村何右衛門金銭受取証文[覚](献上金25両につ き) 上村何右衛門→青山喜平治殿	明治3年午12月	1通・豎切紙	た29-37
田沢廉助金銭受取証文[覚](献上金還付金10両につ き) 田沢廉助→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿 他1名	(明治)8月18日	1通・横切継紙	た29-38
倉田三之丞金銭受取証文[覚](献上金下ヶ渡10両に つき) 倉田三之丞→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣 馬殿他1名	明治4年未8月	1通・横切継紙	た29-39
徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](献上金10両3金につき) 徳嵩廣馬→鈴木富治殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-40
中島渡浪金銭受取証文[覚](献上金10両3金につき) 中島渡浪→田中増治殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-41
中島渡浪金銭受取証文[覚](献上金20両につき) 中 島渡浪→関口勝馬殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-42
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金5両につき) 池田富之進→中島渡浪殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-43
松本仙治金銭受取証文[覚](献上金還付金30両につ き) 松本仙治→中島渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿 他1名	(明治4年)辛未8月10日	1通・横切紙	た29-44
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金20両につき) 池田富之進→毛利喜作殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-45
上村何右衛門金銭受取証文[覚](献上金20両につ き) 上村何右衛門→木内中殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-46
徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](献上金30両につき) 徳 嵩廣馬→長谷川徳太郎殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-47
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金50両につき) 池田富之進→高野車之助殿・高野右金吾殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-48
池田富之進金銭受取証文[覚](献上金15両につき) 池田富之進→平林吉之助殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-49
中島渡浪金銭受取証文[覚](献上金10両につき) 中 島渡浪→高橋清蔵殿	明治3年午12月	1通・豎紙	た29-50

## 14 藩政／家臣・財方／家臣借入金

## 勘定所・計政局

(旧松代庁借金穀取調関係書類一括)			た76
(紙紐) た76を一括		1点・紙紐	た76-1
(嘉永6年～明治3年松代藩調達金関係書類綴)		6点	た76-2
太田藤右衛門用状写[覚](嘉永6年～明治3年旧松代藩調達金につき) 土族太田藤右衛門→	(明治3)庚午12月	1冊・豎半	た76-2-1
高野覚之進他一名金銭借用証文写[覚](借入金50両につき) 高野覚之進・片桐重之助/(奥印)竹村金吾→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿 た76-2-1の別紙	嘉永6年丑12月	1通・豎紙	た76-2-2
高野覚之進他一名金銭借用証文写[覚](借入金50両につき) 高野覚之進・片桐重之助/(奥印)竹村金吾→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿 た76-2-1の別紙	嘉永6年丑12月	1通・豎紙	た76-2-3
高野覚之進他一名金銭借用証文写[覚](借入金140両につき) 高野覚之進・片桐重之助/(奥印)磯田音門→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿 た76-2-1の別紙	安政3年辰12月	1通・豎紙	た76-2-4
高野覚之進他一名金銭借用証文写[覚](借入金100両につき) 高野覚之進・片桐重之助/(奥印)磯田音門→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿 た76-2-1の別紙	安政3年辰12月	1通・豎紙	た76-2-5
相原音五郎金銭借用証文写[証](藩用のため才覚金17両2分につき) 相原音五郎/(奥印)三澤清泰→太田藤右衛門殿 た76-2-1の別紙	明治3年庚午12月	1通・豎紙	た76-2-6
[東京下総屋半七相模屋徳兵衛ヨリ借金穀証書写](慶応3年10月～明治元年12月) 元松代庁→		1冊・豎美	た76-3
(藩士手当金拝借分返済記録)		1冊・横長半	た48
(南沢甚之介・久保三郎等利安借入金差引勘定帳)	(慶応2)寅7月	1冊・横長半	た108
(藩士上納帳綴)		3点	た210
[笠原九左衛門御役中御勘定不足金口人并口弁合い古帳面今度望月治部左衛門指図ヲ以新帳面立合引取相極候付古帳面封印致置候](封筒、裏書「宝暦三酉年之帳面笠原九右衛門・落合瀬左衛門共二入置申候、以上」 中俣最角/(裏書)桜井□□・鈴木弥惣左衛門・三井九郎兵衛・高山文左衛門→	明和2年乙酉2月	1点・封筒	た210-1
[落合瀬左衛門上納帳](帳消の旨、明和元年12月三井九郎左衛門他一名署名付)	宝暦3年酉12月	1冊・豎美半大	た210-2
[笠原十五郎関口要之進上納本帳](帳消の旨、明和元年12月22日三井九郎左衛門他一名署名付) 緑川条右衛門・三井九郎左衛門/(奥書)三井九郎左衛門・高山文左衛門→ 奥書は明和元年12月22日付	宝暦10年卯12月	1冊・豎美半大	た210-3

## 15 藩政／番方／新小銃隊用買物・出勤調

## 勘定所

(諸書類一括) た64はビニール紐一括、※10 藩政／財 方／勘定諸務・勘定向き用状ほかにもあり			た64
(新小銃組関係一括) 紙縫一括			た64-1
(紙縫)		1点・紙縫	た64-1-1
[御買物所より品々受取通] 御足輕奉行→-	慶応2年寅正月	1冊・横長半	た64-1-2
割番申上書[覚](御上京御供のうち帰着・不帰着の者 取調につき) 割番→-	巳8月27日調	1冊・横長半	た64-1-3
[大御総督府御印章差出覚]		1冊・横長半	た64-1-4
(7月26日から8月3日まで名面書) 綴紐脱		1冊・横長半	た64-1-5
(金児丑兵衛取扱番組書付)		1冊・横長半	た64-1-6
(牧野大右衛門組等足輕隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-7
(牧野大右衛門組等新小銃組入隊者書付)		1冊・横長半	た64-1-8
(新小銃組隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-9
(新小銃組根井小右衛門隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-10
(新小銃組隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-11
(新小銃組吉村左織隊員書付)		1冊・横長半	た64-1-12
(新小銃組5月分懈怠調人調綴)		7点	た64-1-13
[五月中懈怠調](新小銃組山中隊分) 山中組→-	6月	1通・横切継紙	た64-1-13-1
(新小銃組蟻川隊分五月中懈怠人調) 蟻川隊→-	5月届参	1通・横切継紙	た64-1-13-2
(新小銃組金児隊分五月中懈怠人調) 金児隊→-	5月	1通・横切紙	た64-1-13-3
[五月中不参人別](新小銃組六番隊分) 六番隊→-	6月	1通・横切紙	た64-1-13-4
[五月中懈怠調](新小銃組牧野隊分) 牧野隊→-	6月	1通・切紙	た64-1-13-5
[五月中懈怠調](新小銃組山越隊分) 山越隊→-		1通・横切紙	た64-1-13-6
[五月中懈怠覚](新小銃組寺内隊分) 寺内隊→-	6月	1通・切紙	た64-1-13-7
割番申上書(巳年4月中新小銃組懈怠人別取調) 割番→-	5月	1冊・横長半	た64-1-14
(新小銃組3月中懈怠調綴)		5点	た64-1-15
[牧野隊三月中懈怠調](新小銃組牧野隊分) 牧野隊→-		1通・横切紙	た64-1-15-1
[三月中不参人別] 池田儀左衛門・山崎栄作→-	4月	1通・横折紙	た64-1-15-2
[一番隊三月中不参人別] 浅井佐一郎・竹内龍之助→-	4月	1通・横折紙	た64-1-15-3
[山越隊三月懈怠調] 小山伝治・米倉元蔵→-		1通・横切紙	た64-1-15-4
[三月中不参人別](新小銃組六番隊分) 六番隊→-	4月	1通・横切継紙	た64-1-15-5
(新小銃組4月中懈怠調人別綴)		6点	た64-1-16
[四月中不参](新小銃組蟻川隊分) 蟻川隊→-		1通・切紙	た64-1-16-1

16 藩政／番方／戊辰出兵宰領ら勤務調

(四月中懈怠調、新小銃組牧野・山中両隊分)		1通・切紙	た64-1-16-2
[四月山越組](四月中不参人別、小銃組山越隊分)		1通・横切紙	た64-1-16-3
[金児隊四月中不参人別](新小銃組金児隊分)		1通・横切紙	た64-1-16-4
(不参人別調、新小銃組柘植隊分)		1通・横切紙	た64-1-16-5
[覚](4月中懈怠取調) 桜井師之丞・岡沢万亀太→		1通・横切継紙	た64-1-16-6
(不参取調・長病之者覚綴)		2点	た64-1-17
[五番隊不参取調二月分] 三村官右衛門・高野利之丞→	2月	1通・横折紙	た64-1-17-1
[長病之者覚]		1通・横切紙	た64-1-17-2
掛り割番申上書(新小銃組壹番～五番隊分当已5月中懈怠人別取調につき) 掛り割番→	6月	1冊・横長半	た64-1-18
割番申上書(壹番～五番隊分新小銃組当已2月中懈怠人別取調につき) 割番→	3月	1冊・横長半	た64-1-19
[貳番隊不参人別二月分] 池田儀左衛門・山崎栄作→	2月	1通・横折紙	た64-1-20
[六番隊二月中不参人別]		1通・横折紙	た64-1-21
(新小銃隊年齢別書上) 割番→	午3月	1冊・横長半	た64-1-22
割番申上書(新小銃組隊入替取調下調帳) 割番→ 貼り紙・下ケ札あり	6月	1冊・横長半	た64-1-23
(新小銃組人別勤日書付)		1通・横折紙	た64-1-24
割番申上書[覚](新小銃組隊入替取調下調帳) 割番→	午8月	1冊・横長半	た64-1-25

16 藩政／番方／戊辰出兵宰領ら勤務調

計政局

(越後表出兵の宰領等勤務取調書類綴 明治4年) 紐綴一括		20点	た8
割番申上書(飛脚荷物宰領等勤め者の内褒賞なき者取調につき) 割番→	(明治4年)未8月	1通・横切継紙	た8-1
御飛脚宰領組町田元吉申上書[御尋二付口上書ヲ以奉申上候](御荷物宰領等勤日数尋ねにつき申上書) 御飛脚才領組町田元吉→御割番所	明治4年未8月	1冊・豎半	た8-2
御飛脚宰領組新村八重治申上書[口上覚](荷物宰領等勤め方取調につき申上書) 御飛脚才領組新村八重治→	明治4年未8月	1通・横切継紙	た8-3
御飛脚宰領組宮尾三左衛門申上書[覚](荷物宰領等勤め方取調につき) 御飛脚宰領組宮尾三左衛門→	(明治4年)未8月	1通・横切紙	た8-4
御飛脚宰領組羽生田徳左衛門申上書(荷物宰領等勤め方取調につき) 御飛脚才領組羽生田徳左衛門→	(明治2年)已8月	1冊・豎半	た8-5
割番申上書(桜井勇作組本詰名代近藤子代吉荷物宰領出着日限取調につき) 割番→	(明治4年)未8月	1通・横切紙	た8-6
御飛脚宰領組池田千之助申上書[覚](越州御用勤取調につき) 御飛脚宰領組池田千之助→	(明治4年)未8月	1通・横切紙	た8-7
御飛脚宰領組富岡豊蔵申上書[覚](偽官軍探索等飛脚宰領組の下筋勤方取調につき) 御飛脚才領組富	(明治4年)未8月	1通・横切継紙	た8-8

岡豊蔵→			
宰領組宮尾小文治申上書[覚](弾薬宰領等下筋勤につき) 宰領組宮尾小文治→御割番所	明治4年未8月	1通・縦紙	た8-9
塚原健三郎組堀井惣兵衛申上書[口上覚](御荷物宰領等勤め方お尋ねにつき) 塚原健三郎組八郎右衛門椿柳之助改名堀井惣兵衛→御割番所 「六月十三日帰着仕候 割番」の下ケ札あり	(明治4年) 辛未8月	1通・横切紙	た8-10
宰領組海沼国治申上書(玉葉宰領等下筋勤め方につき) 才領組海沼国治→御割番所		1通・縦紙	た8-11
御飛脚宰領組神山藤次郎申上書(弾薬宰領等下筋御用勤め方取調につき) 御飛脚才領組神山藤次郎→	(明治4年) 未8月	1通・横切継紙	た8-12
御飛脚宰領組百瀬梅司申上書[覚](病人付添ほか越州出張先用勤取調につき) 御飛脚宰領組百瀬梅司→	(明治4年) 未8月	1通・横切継紙	た8-13
割番申上書(高野新之丞組名代本詰長崎儀野右衛門下筋勤めのための出着日限取調につき) 割番→	(明治4年) 未8月	1通・横切継紙	た8-14
元吉沢喜源太組倉嶋太兵衛申上書[口上覚](荷物宰領の勤め方取調につき) 元吉沢喜源太組倉嶋太兵衛→御割番所	明治4年未8月	1通・縦切紙	た8-15
元御飛脚宰領組後見小池元作申上書[口上覚](玉葉宰領等勤め方取調につき) 元御飛脚宰領組後見小池元作→	(明治4年) 未8月	1通・縦紙	た8-16
海沼辰之丞跡組宮本平三郎申上書(玉葉送付の宰領等勤めにつき) 海沼辰之丞跡組宮本平三郎→	(明治4年) 辛未8月	1通・縦紙	た8-17
御飛脚宰領組鳥羽友作申上書[覚](荷物宰領の勤務取調につき) 御飛脚宰領組鳥羽友作→	(明治4年) 未8月	1通・横切紙	た8-18
小林玉三郎組瀧沢平十郎申上書(荷物宰領等勤務につき) 小林玉三郎組源左衛門孫瀧沢平十郎→	明治4年辛未8月	1通・横切紙	た8-19
御飛脚宰領組荒井善市申上書(小千谷戦争等勤務につき) 御飛脚宰領組荒井善市→	(明治4年) 未7月	1通・縦紙	た8-20
大島村取締役根岸久兵衛他四名願書[上](慶応4年飯山表への出兵諸入費立替え分下ケ渡願につき) 高井郡小布施村他11ヶ村右村々役人惣代小布施村名主市村忠助・同関谷縫右衛門・元名主平松幸右衛門他2名→元松代御泉御役所	明治4年未12月	1冊・縦半	た7
兵部廻章順達写書留(記録編輯のため諸戦争の形状届書等提出ほかの件につき)	(明治)3年6月10日~12日	1冊・縦半	た17
某嘆願書(戊辰戦争兵食料等賄料払い残り滞り分を再取調べ下ケ金につき)	(明治)7年12月	1冊・縦半	た23
(飯山迄出張手当金等書上帳)		1冊・横長半	た157

## 17 藩政／番方／戊辰出兵錦御印

(御印一括) 紙縫一括			た208
[錦御印](包紙) た208-1-2入		1点・包紙	た208-1-1
(西村孝三郎返上錦袖御印)		1点・御印(織布)	た208-1-2
[片岡主計](包紙) 包紙のみ		1点・包紙	た208-2

18 藩政／庶務方／明治職制

[増田助之丞](包紙) た208-3-2入 (錦袖御印)		1点・包紙	た208-3-1
[御印 秋里初平](包紙) た208-4-2入 (錦袖御印)		1点・御印(織布)	た208-3-2
[甲府御渡 宮澤富輔](包紙) た208-5-2入 (錦袖御印)		1点・包紙	た208-4-1
[鉄炮胴乱笠法被御印二ツ 元左衛門組宣次郎 勘 右衛門殿御借人二而甲府出立之節返上](包紙) た208-6-2入 紐付		1点・御印(織布)	た208-4-2
(錦袖御印)		1点・包紙	た208-5-1
某用状(小役勤務等につき) 紐付		1点・御印(織布)	た208-5-2
(家中任命書綴)		1点・包紙	た208-6-1
(宮沢喜平治御家給使助勤任命書)	12月	1点・御印(織布)	た208-6-2
(清水瀬左衛門給使並びに任命書)	明治14年12月28日	1冊・豎半	た10
(牧野毅兵部権大尉と八等関係書類一括) 封筒一括		2点	た127
(封筒) 渡辺元大属→長谷川元権大参事殿		1通・横切紙	た127-1
兵部省任命書(牧野毅兵部権大尉と八等任命につき) 兵部省→兵部権大録牧野毅		1通・横切紙	た127-2
東京出張所用状(牧野毅陸軍大尉任命につき) 東京 出張所→松代庁御中	(明治5年)壬申2月25日		た216
渡辺元大属用状(小林常男帰村の節便状渡しにつき) 渡辺元大属→長谷川元権大参事殿	(明治5年)2月25日	1点・封筒	た216-1
(天保11年7月屋敷引渡関係書類一括)	(明治5年)壬申3月4日	1通・横切継紙	た216-2
[天保十一年七月より御願 屋敷地被下之者江引 移之儀御達之扣 但向後御達有之分其時々認入候 様被仰渡](包紙)		1通・切紙	た216-3
(御番士増田助之丞等23名の屋敷地引き移し達留)	(天保5年10月15日～ 天保11年7月24日)	1通・横切紙	た216-4
		1冊・豎半	た217
		1点・包紙	た217-1
		1冊・豎半	た217-2

18 藩政／庶務方／明治職制

(大政奉還後徳川氏関係綴 慶応4年)		2点	た6
徳川亀之助駿河国領地70万石下賜に関する書留(徳 川亀之助駿河国府中城主令達廻状順達につき)	(慶応4年)5月25日～26日	1冊・豎半	た6-1
徳川慶喜恭順謹慎の勅諭に関する書留(徳川慶喜恭 順謹慎の勅諭の写廻状順達等につき)	(慶応4年)4月7日	1冊・豎半	た6-2
山寺丙太郎用状(養老の典举行停滞の旨のため迅速に 執達願につき) 山寺丙太郎→理事御中	(明治4年)辛未正月26日	1冊・豎半	た27
[弘化五申年他所文通留書抜]	(弘化5年4月28日～ 9月26日)	1冊・横長半	た44



某申上書〔御人減シ之事〕(家中窮乏のため正権大属・書記・兵器庶務等につき)		1冊・横長半	た69
(御在所日記) 旧史料館の整理カード添付、虫損甚大	(天明7年)10月～12月	1冊・縦半	た129
(松代藩国許目付触書断簡) 虫損甚大、松代藩国許目付作成の幕府触留	正月24日	1通・縦折紙	た130
(西和田村与吉・中越村幸七等の初代金他金銭書上帳) 掛紙あり		1冊・横長半	た131
御手附稟藤孝作他一名申上書(紛失の品詮索につき) 御手附稟藤孝作・同木下伝五郎→	巳10月	1冊・縦半	た132
[御借入金御返済取調](預所・里郷村他分)		1冊・横長半	た133
(甲斐守・造酒正他褒章品書上)		1冊・横長半	た135
(御殿絵図) 鉛筆書で「真田絵図未整理分」と記された用紙同封、一部の施設は立体的に復元可能		1通・鋪	た136
(伊勢御代参につき殿中服穢改他真田家中へ触留断簡)		1通・縦紙	た137
(4月6日から4月12日まで松代城詰番日記)		1冊・縦半	た138
(西條村藤右衛門酒酩酊の上不法一件書抜) 日記の断簡か、た140は旧史料館封筒に同封		1通・縦折紙	た139-1
(盗賊のため紛失品有無調査の件他届書書抜)		1通・縦折紙	た139-2
(丸茂宗弥他江戸出立記) 日記の断簡か		1通・縦折紙	た140
(6月9日江戸当番日記)		1冊・縦半	た141
(忌御免・江戸出立の仕方他書抜) 日記の断簡か		1通・縦折紙	た142
(直姫井上河内守養女の件祝儀につき綿貫五郎兵衛同他日記書抜) 日記の断簡か	(文化11年6月)	1冊・縦半	た143
[日記](江戸当番日記) 当番は小松文治・関山三弥	(享和3年)	1冊・縦半	た144
(6月1日分殿様松代発籠一件他日記断簡) 矢沢将監の表記あり		1通・縦折紙	た145
(正月4日から14日まで江戸当番日記) 当番は八田競・興津政野右衛門、若殿様の官位叙任に記事あり		1冊・縦半	た146-1
(松代藩御用番へ有金銭報告他日記書抜) 日記の断簡か、た147は史料館の封筒に同封		1通・縦折紙	た146-2
[日記 控] 河原舎人→	嘉永5年子8月	1冊・縦半	た147
(御礼金書上、金253両余) 掛紙・下ケ札あり		1冊・縦半	た151
(日記書抜) 日記の断簡か、た146の関連文書か	8月朔日	1冊・縦半	た152
(上京・上坂関係等留書一括) 紙縫一括		5点	た175
(関田荘助上坂一件書類留)		1冊・縦半	た175-1
(扶持方代金等につき用状留) 虫損甚大		1冊・縦半	た175-2
(市兵衛・荘助在坂中借入金の件につき書状留) 虫損甚大		1冊・縦半	た175-3
(京坂の風聞等在京中書状留)		1冊・縦半	た175-4
(藩主代替の節白山彦五郎他への加増関係書類留)		1冊・縦半	た175-5
(9月3日から9日まで日記書抜) 日記の断簡か		1冊・縦半	た176

19 藩政／在方・町方／争論・訴訟

(2月14日から3月18日望月治郎左衛門日記) 紐一括		1冊・美大	た183
高田幾太廻状(稗島一件に関する回章・存意書並びに入用者人別帳) (高田)幾太→守右衛門様	3月11日	1冊・横長半	た199
(職制表一括) た38は紙縫一括、旧史料館封筒入 (紙縫)			た38
[松代藩職制表]		1点・紙縫	た38-1
[常備一番小隊表](第一中隊) 付箋・貼紙あり、朱書あり		1点・鋪	た38-2
[常備三番小隊表](第二中隊) 貼紙あり		1点・鋪	た38-3
(御武具方調役・手附・運夫等等級付)		1点・鋪	た38-4
(高島藩・忍藩等藩治職制表) 朱書あり		1点・鋪	た38-5
(松代藩職制表一括) 巻込み一括		1通・縦継紙	た38-6
[松代藩職制表] 兵政局についてはた38-6-2より記述が詳細			た38-7
[松代藩職制表]		1点・鋪	た38-7-1
[松代藩職制表] 朱書あり、兵政局の欄に貼紙あり、付箋あり		1点・鋪	た38-7-2
[松代藩職制表] 朱書あり、兵政局の欄に貼紙あり、付箋あり		1点・鋪	た38-7-3
[職制](松代藩職制表) 貼紙あり		1点・鋪	た38-7-4
某触書[貞享四年卯二月朔日御触](御構の土手・御曲輪・屋敷裏通路禁止等松代城内関係につき) →松村彦之丞殿・白川清左衛門殿	貞享4年卯2月朔日	1冊・縦半	た9

19 藩政／在方・町方／争論・訴訟

勘定所

(市村・千田新田・川合3ヶ村境論所見分関係書類一括 文政2年) 袋一括			た30
[文政二寅年四月市村千田新田川合三ヶ村境論所見分願出候付被仰渡罷越右場所明細見分詮議之上三ヶ村共内済和談致度旨願出候付右和談之境筋見分絵図面并品々書類共入](袋) 古岩彦作・小野四郎三郎→ た30-18まで史料館括紐一括		1通・袋	た30-1
千田村名主七左衛門他三ヶ村十八名請書[乍恐以口上書御受申上候御事](論所見分につき御受一札) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村16名→論所御見分御役人中様 端裏貼紙「老番」	文政2年卯4月9日	1通・縦継紙	た30-2
千田村名主七左衛門他三ヶ村十九名差出一札[差上申一札之御事](逗留中御賄並び諸入料書上) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村17名→論所御見分御役人中様 端裏貼紙「夫銀書上書面」、下ヶ札あり	文政2年卯4月	1通・縦継紙	た30-3
千田村名主七左衛門他十九名願書[差上申一札之御事](千田村・新田川合村・市村境目の定め願につき連印一札) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他17名3ヶ村20名→論所御見分御役人中様 端裏貼紙「老印」	文政2年卯4月	1通・縦継紙	た30-4

千田村重立惣代久右衛門他三ヶ村七名申上書〔別紙惣代御書上仕候〕(千田村等3ヶ村の重立惣代・小前惣代書上につき) 千田村重立名主久右衛門・小前惣代七右衛門・市村北組重立惣代太吉他5名→論所御見分御役人中様 破損甚大、端裏に貼紙あり	文政2年卯4月9日	1通・豎紙	た30-5
市村北組惣代多吉他四名願書〔御日延奉申上候御事〕(千田村等3ヶ村三ツ境御立の請書差出し日延願につき) 市村北組惣代多吉・市村南組惣代三左衛門・惣代幾左衛門他2名→論所御見分御役人中様 端裏貼紙「弐印」	文政2年卯4月11日	1通・豎紙	た30-6
新田川合村名主吉三郎他四名返答書〔御尋二付以上書御答申上候御事〕(新田川合村と千田村境筋満水での変地尋ねにつき返答書) 新田川合村名主吉三郎・組頭覚右衛門・長百姓武助他2名→論所御見分御役人中様	文政2年卯4月	1通・豎紙	た30-7
市村北組名主茂左衛門十四名願書〔差上申一札之御事〕(市村・新田川合村分地境目取決め願につき) 新田川合村名主吉三郎・組頭覚右衛門・長百姓武助他2ヶ村12名／(奥印)千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他2名→論所御見分御役人中様 端裏に貼紙あり	文政2年卯4月15日	1通・豎紙	た30-8
(市村・新田川合村分地境目取決め願の添絵図) 千田村久右衛門・七右衛門・新田川合村吉郎右衛門他3ヶ村6名→ 端裏貼紙「五印江添」	文政2年卯4月15日	1通・豎紙	た30-9
市村南組帳元栄蔵他三名請書〔差上申御請一札之御事〕(千田村・新田川合村・市村境論内済につき御請一札) 市村南組帳元栄蔵・喜左衛門・幾左衛門他1名→論所御見分御役人中様	文政2年卯4月	1通・豎紙	た30-10
千田村重立惣代久右衛門他十九名請書〔指上申御請一札之事〕(千田村・新田川合村・市村三ツ境論所改めにつき千田村重立惣代他につき) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村17名→論所御見分御役人中様	文政2年卯4月	1通・豎紙	た30-11
千田村名主七左衛門他四名返答書〔御尋二付以上書御答申上候御事〕(千田村と市村境筋満水による変地の件尋ねにつき) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他2名→論所御見分御役人中様	文政2年卯4月17日	1通・豎紙	た30-12
千田村名主七左衛門他十九名願書〔乍恐以上書奉願候御事〕(千田村・新田川合村・市村三ツ境見分・取極願につき) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村17名→論所御見分御役人中様 端裏貼紙「四印」	文政2年卯4月	1通・豎紙	た30-13
某願書〔乍恐以上書奉願候御事〕(千田村・新田川合村・市村三ツ境論につき) 端裏貼紙「六印」、虫損甚大、開封不能のため後半は判読不能	(文政2年4月)	1通・豎紙	た30-14
田村名主七左衛門他十九名願書〔乍恐以上書奉願候御事〕(千田村・新田川合村・市村三ツ境論内済のため一件訴答書類貰下ケにつき) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他17名3ヶ村20名→論所御見分御役人中様 端裏に「七印」の付箋あり、虫損甚大、開封不能のため後半部判読不能	文政2年卯4月	1通・豎紙	た30-15
(新田川合村千田村市村論所見分提出書類一括 文政2年) 袋一括	(文政2年)4月	4点	た30-16
[新田川合村千田村市村論所見分申上] (袋) 古岩彦作・小野四郎三郎・立合竹田孝右衛門→	(文政2年)4月	1点・袋	た30-16-1
古岩彦作他一名申上書(端裏書)〔口上覚〕(新田川合村・千田村・市村三ツ境論所見分の件申上書) 古岩彦作・小野四郎三郎→	(文政2年)4月	1通・横切紙	た30-16-2
古岩彦作他二名申上書(端裏書)〔口上覚〕(新田川合	(文政2年)4月	1通・横切紙	た30-16-3

19 藩政／在方・町方／争論・訴訟

村・千田村・市村境目取決の際地所切取り件返答の旨) 古岩彦作・小野四郎三郎・立合竹田孝右衛門→			
古岩彦作他二名申上書[口上覚](新田川合村・千田村・市村三ツ境論所見分の旨申上につき) 古岩彦作・小野四郎三郎・立合竹田孝右衛門→		1冊・横長半	た30-16-4
(新田川合村千田村市村論所争論内済関係書類一括 文政2年) 紙縫一括	文政2年卯4月	6点	た30-17
(紙縫)	文化11年戌4月	1点・紙縫	た30-17-1
新田川合村願書[乍恐以上書奉願候御事](千田村へ地所切り取りの件これまでの和談通り差置願につき) 新田川合村 端裏書「御他領千田村江被切取候地所之義其仮差置度願」あり、包紙上書「上 新田川合村」	文政2年卯4月	1通・豎継紙	た30-17-2
富竹御領分千田村惣代助左衛門他三名取替一札[為取替一札之事](千田村と新田川合村の大境について仮境取極につき) 富竹御領分千田村惣代助左衛門・惣代伝兵衛・松代御領分新田川合村惣代惣右衛門他1ヶ村1名→ 包紙上書「上 千田村」	文政2年卯4月	1通・豎紙	た30-17-3
市村南組帳元永蔵他三名申上書[差上申一札之御事](逗留中御賄と諸入料書上) 市村南組帳元永蔵・惣代喜右衛門・惣代三左衛門他1名→論所御見分御役人中様端裏書「三境見分遣候夫銀三ツわり申立」	文政2年卯4月	1通・豎紙	た30-17-4
市村南組帳本永蔵他三名願書[乍恐以上書奉願候御事](千田村・新田川合村・市村三ツ境論内済のため一件訴答書類貰下げにつき) 市村南組帳本永蔵・惣代喜右衛門・惣代三左衛門他1名→論所御見分御役人中様 端裏書「三境和談相成候付是迄書類下願」	文政2年卯4月	1通・豎紙	た30-17-5
市村南組帳本永蔵他三名願書[乍恐以上書奉願候御事](千田村・新田川合村・市村三ツ境論内済のため和談絵図面頂戴願につき) 市村南組帳本永蔵・惣代喜右衛門・惣代三左衛門他1名→論所御見分御役人中様端裏書「三境和談二付惣図面願」あり	文政2年卯午4月	1通・豎継紙	た30-17-6
(千田村・新田川合村・市村三ツ境争論内済につき墨引絵図) 千田村名主七左衛門・組頭兵右衛門・長百姓藤左衛門他3ヶ村17名→		1点・鋪	た30-18
[三印](貼紙) た30文書の内より剥離したものか		1点・切紙	た30-19
[御料所下戸倉村与地境論二付、上山田村地並絵図御見分順書上控地並帳巻帳](袋) 海沼八十郎印→		1袋・袋	た124-1
[両使山田村地押改二付山田村案内順内見分絵図] 虫損甚大		1通・豎紙	た124-2
下横田村嘉金治申上書[覚](彦右衛門女房と同村利左衛門・石取り相論について白州での返答とは相違の事内々申上につき) 下横田村嘉金治→ 末尾に文政9年12月利左衛門・荘右衛門他6名から嘉金治宛の取替証文あり		1冊・横長半	た159
(塩代金不払出入訴訟関係書類綴 明治4年9月)		2点	た181
大坂府掛合状写(塩代金不払出入の相手松代県田町の男他2名の取計い依頼につき) 大坂府→松代県・長野県 「松代藩」黒色罫紙使用	(明治4年) 辛未9月29日	1冊・豎半	た181-1
安倍川村淡路屋儀助他二名訴状写[乍恐訴訟](塩代金不払出入のため松代県田町の男他2名相手につき) (安倍川南四丁目川崎屋武十郎借家願人) 淡路屋儀助・(船宿淡路屋増次郎方旅宿淡州那賀浦信濃丸) 船頭藤兵衛・船宿淡路屋増次郎/(奥印) 北を(大) 組三番少年寄	明治4年未9月28日	1冊・豎半	た181-2

築部弥兵衛→大坂府御庁 「松代藩」黒色罫紙使用

## 20 藩政／在方・町方／市場定・川除など諸取計い

## 勘定所・計政局

小市村名主弥五右衛門他四名願書〔乍恐以書付奉願候〕 (馬市結定日延願書) 小市村名主弥五右衛門・組頭四郎 兵衛・長百姓喜代吉他2名→郡御奉行所	慶応4年4月20日	1冊・豎半	た32
(提灯雛形図) 彩色		1通・豎紙	た34
(諸書類一括 享保8年～慶応3年)			た35
某触書〔覚〕(間竿の長さ・田畑下げ等につき触)	享保8年卯	1冊・綴	た35-1
御産物世話役市場世話役兼南沢善右衛門他一名申上 書〔内川村重郎治先年紬市之儀二付骨折候哉御尋 二付以書取申上候〕(市立並びに江戸御用商人斡旋 等につき) 御産物世話役市場世話役兼南沢善右衛門・ 同断酒井嘉十郎→御産物方御掛衆中様	慶応3年卯7月	1冊・豎半	た35-2
(境町市立鑑札関係綴 寛文4年～嘉永7年)	嘉永7年寅7月	2点	た36
境新田村名主栄吉他二名申上書〔乍恐以書付奉申上 候〕(村市鑑札所持につき) 境新田村名主栄吉・組頭 長治郎・同断弥五蔵→当(境町新田)村御改御役人中様	寛文4年辰7月20日	1通・豎紙	た36-1
矢嶋源右衛門他一名定写(境町市立につき) 矢嶋源 右衛門・師岡十良右衛門→	安政4年巳	1通・豎紙	た36-2
神門郡今市町年寄栄蔵・同半左衛門・同嘉市・目代彦一 左衛門願書〔乍恐御愁訴申上口上之覚〕(郡中鍛冶座 肝煎役設置願につき) 年寄栄蔵・同半左衛門・同嘉市・ 目代彦一左衛門→下郡猪蔵殿・与彦・佐兵 差出・宛先は奥 書による、標題〔乍恐御愁訴申上口上之覚〕の差出は神門郡 鍛冶惣代今市町鍛冶惣右衛門印・同嘉三郎印・同兵三郎印・ 宛先は目代彦一左衛門殿・年寄嘉市殿・年寄半左衛門殿・年 寄栄蔵殿となっている、端裏書「郡中鍛冶屋共之内無座二 而職分仕近年別而口掛り合二付以来為掛り合鍛冶肝煎被仰 付被下度旨愁訴書」	3月	1通・豎切継紙	た40
三村大之助嘆願書〔御内々奉嘆願候〕(賞典高調査違 いのため賞典高改め願につき) 三村大之助→ 貼紙「丙 子一月十八日」	享保7年壬寅	1冊・豎半	た41
山本幸内言上書(金銀出入公事取り上げ並びに御家人 の切米他当世上につき) 山本幸内→ 虫損甚大		1冊・豎美	た42
(年貢割付書) 前欠		1冊・豎半	た149
(嘉永2年から慶応3年まで千曲川等川除普請他諸入用 取調帳)		1冊・横長半	た160-4
[願書聞届之分](米相場下値・割番役廃止並びに鑑札他 諸願書聞届帳)	8月19日	1冊・豎半	た161
中村順太郎嘆願書〔口上覚〕(病気のため御役御免願に つき)	8月	1冊・豎美半	た177
草間一路金銭受取証文〔覚〕(犀川御普請代々金123両1 分10匁につき) 草間一路／(奥印) 前嶋有年→佐川又八 郎殿・水井市治殿・谷口大角殿他2名	明治3年午2月	1通・豎切継紙	た178-1
草間一路金銭受取証文〔覚〕(吉窪村等8ヵ村組合往来道 欠落場普請入用料々4両3分13匁8につき) 草間一	明治3年午2月	1通・豎切継紙	た178-2

21 藩政／在方／村々御救い用資金中借

路／(奥印)前嶋有年→佐川又八郎殿・水井市治殿・谷口大角殿他2名			
草間一路金銭受取証文[覚](古関屋川筋等堀浚自普請代 <sup>ノ</sup> 3両1分7匁8分につき) 草間一路／(奥印)前嶋有平→佐川又八郎殿・水井市治殿・谷口大角殿他2名	明治3年午2月	1通・堅切継紙	た178-3
(年貢割付関係書類断簡) 前・後欠		1通・堅紙	た179
田野口村治右衛門申上書(弘化元～嘉永元年分上納夫錢御尋につき) 田野口村治右衛門→御代官所	2月	1冊・横長半	た214
(安政2年から4年まで千曲・犀川出水および本丸普請他御役書上につき)		1冊・横長半	た215
旧松代縣佐藤則通他六名再嘆願書[旧松代縣管下村々賄代他渡殘御下金之義再歎願書] 旧松代縣佐藤則通・富永新平・矢野唯見他4名→長野縣參事榑崎寛直殿 青色野紙	(明治7年)3月	1冊・堅美半	た219

21 藩政／在方／村々御救い用資金中借 勘定所

(白紙)		1通・堅紙	た125
(文久元年11月分中借金受取証文一括) 紙縫一括			た126
(紙縫)		紙縫	た126-1
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](村方拝借願のため5052両余請につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金太／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元司／(裏印)藤岡伊織→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿他2名 高坂守之助他2名の奥印あり	文久元年酉11月	1通・堅紙	た126-2
(中借金受取証文綴)		4点	た126-3
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](変災のため家中手元拝借のため166両余につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金太／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元路／(裏印)藤岡伊織→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿他2名 高坂守之助他2名の奥印あり	文久元年酉11月	1通・堅継紙	た126-3-1
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](村方手元拝借のため2861両余につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金太／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元路／(裏印)藤岡伊織→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿他2名	文久元年酉11月	1通・堅継紙	た126-3-2
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](家中並びに村方拝借願のため金2651両余につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元路／(裏印)藤岡伊織→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿・綿貞泰蔵殿・西村源兵衛殿	文久元年酉11月	1通・堅継紙	た126-3-3
半田亀作他二名中借金受取証文[覚](伊藤佐右衛門取計村方へ貸出のため637両余につき) 半田亀作・伊奈栄治・小野左金太／(奥印)高坂専之助／(奥印)草間元路／(裏印)藤岡伊織→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊予之進殿他2名	文久元年酉11月	1通・堅継紙	た126-3-4

## 22 藩政／在方／凶作状況調

## 勘定所

(天保飢饉村況取調関係書類一括) 紙縫一括			た113
(紙縫)		1点・紙縫	た113-1
(村々米・小豆・大豆他高値につき村況風聞取調帳) 末尾に「天保七申九月写」とあり	天保7年申9月写	1冊・横長半	た113-2
(作毛不作につき村況風説申上書等留)		1冊・横長半	た113-3
(北長池村・北尾張部村・北平林村等の村高・新田高他書付) 綴紐脱		1冊・横長半	た113-4
(代官山田兵次支配山上條村佐五右衛門他年賦金延期願留) 綴紐脱、前後欠、取扱い注意		1冊・横長半	た113-5
(廣田村恒治所持内証潰れ一件書類留) 綴紐脱、前後欠、取扱い注意	(天保2年6月23)	1冊・横長半	た113-6
某申上書[申上](清野村・小森村・石川村等稲作・畑作の作柄他村況風説取調につき) 綴紐脱、取扱い注意、末尾に「右八月廿八日御下ヶ」とあり	8月20日	1冊・横長半	た113-7

## 23 藩政／在方・町方／町在御救い金穀貸与

## 勘定所

(天保飢饉救済関係書類一括) 封筒一括			た65
[天保七申年違作後御救方書類之趣并在出向御賄御差次同等入](封筒) た65一括の封筒、紙縫付、虫損甚大	(天保9年)戊6月	1点・封筒	た65-1
(天保飢饉困窮者へ御救い関係書類書類一括) 封筒一括			た65-2
[極窮品々書類](封筒) た65-2-2~4一括の封筒		1点・封筒	た65-2-1
御郡方書并下ヶ札(困窮者へ稗・玄米・塩等融通申し立てにつき並びに伺の通がよい旨) 御郡方→ 3月25日御下げ、朱書あり	3月24日	1冊・横長半	た65-2-2
岡部八十喜伺書(瀬戸川村難渋人へ米・稗等下賜の件につき) 岡部八十喜	6月	1通・横切紙	た65-2-3
(鬼無里村難渋者名面書) 虫損が激しく、もう一点付、ただし史料が破損してしまう可能性があるため、分離はしていない		1通・横切紙	た65-2-4
[口上覚](包紙) 依田甚兵衛→ 包紙上書あり		1点・包紙	た65-2-5-1
代官依田甚兵衛申上書[口上覚](支配地村々難渋人御救につき) 依田甚兵衛→ 虫喰が甚大	3月	1通・横切紙	た65-2-5-2
(3月21日~4月29日分天保飢饉の村々への下賜穀関係書類綴) 綴紐脱、取扱注意		6点	た65-2-6
(村々へ渡し刻昆布・刻荒布他書付)		1通・横切紙	た65-2-6-1
御蔵番申上書[覚](村々へ渡し刻昆布・刻荒布他に	4月28日迄御払	1通・横切紙	た65-2-6-2

23 藩政/在方・町方/町在御救い金穀貸与

つき) 御蔵番→			
(村々へ下ケ渡の昆布・刻荒布他書付)	4月29日	1通・横切紙	た65-2-6-3
(村々へ下ケ渡の刻昆布・刻荒布他書付)	4月28日調	1通・横切紙	た65-2-6-4
御蔵番用状(村々へ下ケ渡の刻昆布他書付) 御蔵番 → 下ケ札あり	4月28日改	1通・横切継紙	た65-2-6-5
(中縄・蕙等買上代金他書付)	3月21日	1通・横切紙	た65-2-6-6
岡部八十喜伺書[口上覚](古山村・瀬戸川村の難渋人 へ米・稗等下げ穀の件つき) 岡部八十喜→	6月	1通・横切紙	た65-2-7
[口上覚](包紙) 御手代 た65-2-8-括の包紙		1点・包紙	た65-2-8-1
御手代内々申上書[口上覚](村々廻村の折難渋人の 賄数調べ落としにつき内々申上書) 御手代→依田 甚兵衛様	3月	1通・横切継紙	た65-2-8-2
(五十里村ほか8カ村の御救粥釜場見廻出役につき書 付)		1通・横切紙	た65-2-8-3
(2月24日から5月11日まで分天保飢饉村々難渋人へ 米・稗御下げ穀関係書類綴)		7点	た65-2-9
西沢軍治用状(志垣村難渋人へ米・稗御下げ穀につ き) 西沢軍治→		1通・切紙	た65-2-9-1
西沢軍治用状(下祖山村難渋人へ米・稗下げ穀につ き) 西沢軍治→		1通・切紙	た65-2-9-2
岡部八十喜用状[覚](竹生村難渋人へ米・稗下げ穀に つき) 岡部八十喜→		1通・横切紙	た65-2-9-3
(小鍋村千木組難渋人へ御下げ穀につき)		1通・切紙	た65-2-9-4
西沢軍治用状(栃原村平組難渋人へ米・稗御下げ穀不 足分につき) 西沢軍治→	5月	1通・横切紙	た65-2-9-5
某用状(下宮野尾村難渋人へ稗等下ケ渡穀につき)	5月11日	1通・切紙	た65-2-9-6
西沢軍治用状(鬼無里村上組難渋人へ稗御下げ穀に つき) 西沢→	戊2月24日	1通・切紙	た65-2-9-7
(天保飢饉村々難渋人へ米・稗御下げ穀関係書類綴 4月3日~4月29日)		29点	た65-2-10
岡部八十喜伺書[覚](山上条村・山穂苧村等難渋人へ 米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-1
依田用状(上宮野尾村・栃木村へ稗・粉糠支給につき 書付) 依田→	4月27日	1通・横切紙	た65-2-10-2
西沢軍治伺書[口上覚](念仏寺村上組・同村下組ほか3 カ村の難渋人へ玄米・稗等支給につき) 西沢軍治→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-3
(五十里村・小鍋村の難渋人へ下げ穀につき)	4月	1通・横切紙	た65-2-10-4
宮下善左衛門用状[覚](大田原村難渋人へ米・下げ穀 につき書付) 宮下善左衛門→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-5
岡部八十喜伺書(水内村平組・同村安用組の難渋人へ 米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月27日	1通・横切継紙	た65-2-10-6
宮下善左衛門用状[覚](軽井沢村難渋人へ米・稗支給 につき) 宮下善左衛門→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-7
岡部八十喜伺書(本鹿谷村・山穂苧村・花尾村の難渋 人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月27日	1通・横切継紙	た65-2-10-8



山田兵次伺書[覚](専納村・和佐尾村の難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月27日	1通・横切紙	た65-2-10-9
山田兵次伺書[覚](地草原村上組難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-10
岡部八十喜伺書并下ヶ札[覚](瀬戸川村難渋人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月	1通・横切継紙	た65-2-10-11
西沢軍治用状(日影村・鬼無里村元組の難渋人へ玄米・稗支給につき書付) 西沢軍治→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-12
(山田中村・中条村の難渋人へ支給につき書付)		1通・横切紙	た65-2-10-13
山田兵次伺書[覚](高野村難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-14
依田甚兵衛用状(長井村・倉亦村の難渋人へ支給につき) 依田甚兵衛→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-15
岡部八十喜伺書(久木村・古山村・下越道村の難渋人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月	1通・横切継紙	た65-2-10-16
山田兵次伺書[覚](奈良井村難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月29日	1通・横切紙	た65-2-10-17
岡部八十喜伺書(大原村難渋人へ米・稗支給につき) 岡部八十喜→	4月29日	1通・横切紙	た65-2-10-18
山田兵次伺書[覚](市村南組難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-19
山田兵次伺書[覚](椿峯村難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-20
西沢軍治用状(鬼無里村東京組難渋人へ支給につき) 西沢軍治→	4月29日	1通・切紙	た65-2-10-21
西沢軍治用状(梅木村三組ほか3ヵ村の難渋人へ下げ穀につき書付) 西沢軍治→	4月	1通・横切継紙	た65-2-10-22
山田兵次伺書[覚](伊折村中組難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-23
山口兵次伺書[覚](伊折村上組難渋人へ米・稗支給につき) 山田兵次→	5月	1通・横切紙	た65-2-10-24
西沢軍治用状(追通村難渋人へ下ヶ渡につき) 西沢軍治→		1通・切紙	た65-2-10-25
岡部八十喜用状(瀧本新田村へ夫銀支給につき) 岡部八十喜→	4月3日	1通・横切紙	た65-2-10-26
宮下善左衛門用状[覚](牧野嶋村難渋人へ米・稗支給届書につき) 宮下善左衛門→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-27
宮下善左衛門届書[覚](野沢村困窮者へ米・稗支給しにつき) 宮下善左衛門→	4月	1通・横切紙	た65-2-10-28
[西御救粥被下取調一紙] 西沢軍治→	(天保9年)戊3月	1冊・横長半	た65-3
西沢軍治願書[口上覚](鬼無里村・日影村等村役人・世話人施粥実施のため褒賞下賜願につき) 西沢軍治→	(天保9年)2月	1冊・横長半	た65-4
(括り紐) 何を括っていたのか不明			た65-5
和佐尾名主兵左衛門他四名村申上書[極難渋人別御書上帳](和佐尾村分) 和佐尾村名主兵左衛門・組頭儀兵衛・長百姓牧太郎他1名→	天保9年戊4月	1冊・横長半	た65-6

23 藩政／在方・町方／町在御救い金穀貸与

(支配所軽井沢村難渋之者御手元伺書一括) 封筒一括			た65-7
[支配所軽井沢村難渋之者御手元伺](封筒) 宮下善左衛門→	(天保9年)5月	1点・封筒	た65-7-1
某用状(困窮人へ手元稗へ支給関係書付につき)	(天保9年)	1通・堅切紙	た65-7-2
(天保9年輕井沢村困窮人夫食支給関係書類綴)		2点	た65-7-3
宮下善左衛門伺書[口上覚](軽井沢村の内夫食差し支えの者へ稗支給につき) 宮下善左衛門→	(天保9年)5月	1通・横切紙	た65-7-3-1
軽井沢村村役人願書[乍恐以書付奉願候御事](軽井沢村困窮人へ夫食支給願につき) 軽井沢村名主吉左衛門・組頭友左衛門・長百姓利右衛門→御代官所 虫損あり	天保9年戊5月	1通・堅紙	た65-7-3-2
(天保9年瀬戸川村高曲組困窮人への御救穀支給伺関係書類綴)		3点	た65-8
[瀬戸川村高曲組難渋人別御救穀頂戴願伺](封筒) 虫損甚大	(天保9年閏4月)	1点・封筒	た65-8-1
岡部八十喜伺書[口上覚](瀬戸川村桐山・明賀両組の困窮者へ夫食支給につき) 岡部八十喜→ た65-8-3の添状、虫損甚大	(天保9年)	1通・横切継紙	た65-8-2
瀬戸川村村役人願書[乍恐以書付奉願候](瀬戸川村桐山・明賀両組の困窮者へ御救穀支給につき) 瀬戸川村馬曲組名主[ ]五郎・組頭[ ]・長百姓善三郎→御代官所	天保9年戊4月	1通・堅紙	た65-8-3
(不作のため廻村中へ賄分粉支給の件につき伺他関係書類綴)		13点	た65-9
御郡方伺書并付札(不作のため廻村中へ賄分粉支給につき件並びに伺通りの旨) 御郡方→	(天保8年)11月	1通・横切紙	た65-9-1
岡部八十喜伺書[口上覚](瀬戸川村馬曲組等へ廻村中の賄分収粉の内より支給の件につき) 岡部八十喜→	2月	1冊・横長半	た65-9-2
岡部八十喜伺書[口上覚](内川村・矢代村等へ出役中の賄分収粉の内より支給の件につき) 岡部八十喜→	3月	1冊・横長半	た65-9-3
岡部八十喜願書[口上覚](先月石川村・山上条村等へ出役中の賄分収粉のうちより支給の件につき) 岡部八十喜→	(天保8年)10月	1冊・横長半	た65-9-4
山田兵次伺書[口上覚](市村南組・笹平村へ出役中の賄分収粉のうちより支給の件につき) 山田兵次→	4月	1冊・横長半	た65-9-5
山田兵次伺書[口上覚](久保寺村・市村南組等へ出役中の賄御収納の内より支給につき) 山田兵次→	(天保8年)10月	1冊・横長半	た65-9-6
宮下善左衛門伺書[村々賄粉御差遣伺](桑原村・八幡村等へ出役中の賄粉分収納粉の内より支給の件につき) 宮下善左衛門→	(天保8年)10月	1冊・横長半	た65-9-7
宮下善左衛門用状[覚](桑原村・大田原村等へ廻村中の賄支給につき) 宮下善左衛門→	3月	1通・横切継紙	た65-9-8
西沢軍治申上書[違作二付出役向村々賄取調一紙](鬼無里村・日影村等へ出役中の賄粉取調につき) 西沢軍治→ 掛紙あり	(天保8年)西10月	1冊・横長半	た65-9-9
依田甚兵衛伺書[正月中より四月迄村賄御差遣伺](腰村・小鍋村等へ出役中の賄粉収納の粉内より支給の件につき) 依田甚兵衛→	4月	1冊・横長半	た65-9-10
依田甚兵衛伺書[村賄御差遣伺](森村・内川村等へ出役中の賄粉分収納粉の内より支給の件につき)	(天保8年)10月	1冊・横長半	た65-9-11

依田甚兵衛→			
西沢甚右衛門申上書[廻村中村々賄方申上](上平村・羽尾村等廻村中村役人より賄い差し出しにつき) 西沢甚右衛門→	4月	1冊・横長半	た65-9-12
西沢甚右衛門伺書[村々賄方申上](追通村・栃原村等廻村中村々より賄い差し出分支給の件につき) 西沢甚右衛門→	5月	1冊・横長半	た65-9-13
某伺書[村々御救粥御入料伺](水内村・牧野嶋村等廻村中村々より賄い差し出分支給の件につき) 表紙上書「老番」		1冊・横長半	た65-10
某伺書[御救粥被下村々調元帳](瀬戸川村・和佐尾村等廻村中村々より賄い差し出分支給の件につき) 表紙上書「二番」	(天保8年)西10月	1冊・横長半	た65-11
(市村南組・上祖山村等困窮者へ米・稗下渡しにつき書上)		1冊・横長半	た65-12
大岡川口村弥五兵衛願書[乍恐以書付御内々奉願上候](違作のため金20両にて御救い執成し願につき) 大岡川口村弥五兵衛→[ ](御勘定)所御元々御役所裏打あり、破損甚大、判読不能箇所多	(天保)8年9月	1通・縦紙	た12
宮下主鈴他一名伺書[町々外之者共御内借金差滞上納方歎願之儀二付御内慮伺](内借金上納延滞のため証文切替え願につき) 宮下主鈴・一場茂右衛門→	8月	1冊・縦半	た16-1
会計官用状(上納金切替の規約書につき) 会計官→紙縫で折綴	9月	1通・縦紙	た16-2
(久保肅蔵家督相続関係綴 文政11年～明治4年)		9点	た21
(譲り証文・内規定等久保家家督相続関係書類留) 小林唯蔵/久保規→久保規殿/小林内蔵太殿 朱書「老印」	文政11年戊子9月～天保2年11月	1冊・横長半	た21-1
(久保喜伝治別家相続につき除地等引分け方規定書) 久保喜伝治→倅本家家督久保又次郎殿 朱書「式印」、惣親類11名の奥書あり	嘉永2年己酉閏4	1冊・横長半	た21-2
(高地減少・健治出入差留等尋の件につき答書写) 朱書「三印」		1冊・横長半	た21-3
久保肅蔵口上書[口上覚](借財等不行跡の件につき父喜伝治へ取繕願につき) 久保肅蔵→孫内右衛門様・嶋田全隆様 朱書「四印」	文久3年亥8月	1冊・縦半	た21-4
久保肅蔵口上書[口上覚](高地減少の取計い方・健治出入差留の件等尋ねにつき返答書) 久保肅蔵→朱書「五印」	文久3年亥9月	1冊・縦半	た21-5
[田地借財取調帳] 朱書「六印止」	慶応2年寅7月調	1冊・横半半	た21-6
某申上書(久保肅蔵死去跡式未決一件穿鑿につき)	(明治4年)辛未4月	1冊・横長半	た21-7
某申上書(久保肅蔵死去埋葬の件穿鑿につき)	(明治4年)辛未4月	1冊・横長半	た21-8
水内郡新町村久保慎兵衛嘆願書[乍恐以書付奉申上候](勝手向不如意につき利糶拝借の件につき) 水内郡新町村久保慎兵衛→松代御役所	明治4年辛未8月	1冊・縦美	た21-9
[安政六未向々拝借之口本上納御払切留帳] 御余慶方→	万延元年申	1冊・縦半	た37
[申年以来御救方之内え差上金](包紙) 表紙のみ		1通・縦切紙	た39-1
矢沢監物用状(差上金社倉へ加金につき) 矢沢監物→岡[ ]殿 虫損甚大	13日	1通・横切継紙	た39-2

24 藩政／鉾山経営 25 松代庁・元松代庁／財方／藩債・その他旧藩勘定

(掛紙)「真月院様格被下候人御礼」(拝領品目録)		1冊・横長美大	た154
(拝借掛貸出金元金取調官系書類一括) 麻紐一括			た155
(麻紐)		1点・紙縫	た155-1
拝借掛申上書[覚](家中・町方・村方への拝借貸出元金取調につき) 拝借掛→	子6月	1冊・横長美	た155-2
拝借掛申上書控[覚](家中・町方・村方への拝借貸出元金取調につき) 拝借掛→ 表紙「九月廿三日迄 控」	子9月	1冊・横長美	た155-3
拝借掛申上書[覚](中借・上納金納入につき) 拝借掛→	申正月	1冊・横長美	た155-4
(元御預所村々へ貸出金書上帳)		1冊・豎半	た164

24 藩政／鉾山経営 勘定所

(鉾山入用他諸費勘定帳綴)		2点・横長半	た95
(鉾山入用および銀座返納灰吹銀買上代等勘定帳)		1冊・横長半	た95-1
[西七月より亥七月迄御勘定帳残物](銅山諸経費勘定帳)		1冊・横長半	た95-2
[西七月より亥七月迄御勘定帳残物](銅山自分稼ぎへ仕法替につき諸経費と吹銅買上分の差引勘定帳)	2月	1冊・横長半	た96
(銅山経営関係差引勘定帳綴)		2点	た97
(銅山経営関係差引勘定帳)		1冊・横長半	た97-1
[西七月より亥七月迄御勘定帳残物](銅山自分稼ぎへ仕法替につき諸経費と吹銅買上分の差引勘定帳)	2月	1冊・横長半	た97-2

25 松代庁・元松代庁／財方／藩債・その他旧藩勘定

真田家家令・家扶

成本治之助申上書[記](月給等駆通関係費差引勘定につき) 成本治之助→	明治8年5月10日	1冊・豎紙	た18
元松代庁嘆願書[国役高掛金酒造冥加金上納方差滞儀二付歎願](国役高掛金酒造冥加金を旧藩事真田御賞典より差引上納につき) 元松代庁→長野県御中 黒色罫紙使用	(明治5年)壬申5月	1冊・豎紙	た19
(旧松代藩御林払下げ関係書留) 青色罫紙使用	明治5年壬申4月	1冊・豎美	た22
(負債金消却仕法取調書)「真田家」罫紙使用		1冊・豎半	た165
[旧藩藩債消却方手順并御囲金等之事] (長谷川)昭道→ 「真田家」罫紙使用	明治8年10月	1冊・豎半	た166
某内々申上書(旧松代藩士族等へ真田家家禄分与等につき) 掛紙あり、下ケ札あり	戊4月	1冊・豎半	た167
某内々申上書[御内々御含近二申上](旧松代県の負債消却方法等につき)「真田家」罫紙使用		1冊・豎半	た168

(賞典米・藩用払残代金等東京と松代取計分勘定書)	1冊・豎半	た169
[戌年御賞典取計]	1冊・豎半	た170

## 26 その他

某書状(年中行事の書状の出し方につき書状) 福江→ 駒の殿 五節句御奉文差し出しの別紙目録綴	1綴・横折紙	た24-1
(上杉様・亀井様他への年中行事の手紙の差し出し方につ き書付)	1通・横折紙	た24-2
[志母の古稀を祝て](短歌二首) 棟重→	(明治)43年1月1日 1通・豎切紙	た25
(諸書類一括 天保9年4月～明治4年8月) 巻込一括		た26
(藩主への年頭御礼日記写) 表紙朱書「大手当番扣写 天保十五辰年」	天保9年辰正月4日～晦日 1冊・豎半	た26-1
桑名四角之助親類寺内多宮他一名嘆願書(桑名左太 郎咎赦並びに免身分取復願につき) 桑名四角之助 親類寺内多宮・宮嶋嘉織→県庁御中	(明治4年)辛未8月 1冊・豎半	た26-2
片山岩男他三名嘆願書(出奔人石黒八郎姉大病のため 救助願につき) 片山岩男・大熊謙・成沢荘藏他1名 →理事御中	正月 1冊・豎半	た26-3
甲州山梨郡千塚村長百姓尾沢嘉七郎他十一名願書写 (天朝領へ編入のための触達等支配仕方願につき) 甲州山梨郡千塚村長百姓尾沢嘉七郎印・同州巨摩郡志田村 同平助印・同州同郡上石田村武兵衛院他9名→	慶応4年戊辰4月 1冊・豎半	た148
(登城挨拶他御座敷向習礼書上)	1冊・豎半	た150
公廨御開御式書(付座敷図)	1冊・豎半	た156
(三步立他合12万2680人名面書)	(弘化4年) 1冊・横長半	た158
(享保18年から寛政11年まで名面書)	1冊・豎半	た180
(錦袖御印) 包紙あり 紐付	1点・御印(織布)	た211
(文化4年4月24日から26日まで八幡村他2ヵ村と桑原 村・中原組との水論日記)	1冊・豎半	た153

## 史料目録 第88集

しなののくにまつしるさなだ けもんじょもくろく  
信濃国松代真田家文書目録 (その9)

印刷発行 平成21年3月31日  
発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館  
編集 調査収集事業部  
〒190-0014  
東京都立川市緑町10-3  
電話番号 050-5533-2900 (代)  
印刷所 睦美マイクロ株式会社  
〒744-0002  
山口県下松市松神町本通り

©人間文化研究機構 禁無断複写  
(本文用紙は中性紙を使用)

本書は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』(第78集まで発行)を継続しています。

978-4-87592-134-9

978-4-87592-134-9